

【文章】や【レポート】を推敲する場面設定の出題で、 加筆・修正の意図や効果を吟味する力が求められた

共通テスト 第3問 問3 (ii)

- 第3問 わかりやすい言語づかいについて自分の考えを詳しく述べ、この課題を与えられたひさんは、かつて外来語をわかりやすく言い換える提案があったことを知って興味を持ち、そのことを例に文章をまとめている。【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】は、集めた資料をひさんがまとめたものである。これらを読んで、後の問い(問1～3)に答えよ。(配点 20)
- 問3 ひさんは、【資料Ⅱ】を用いて文章の[3]段落の主張に根拠を加え、さらに「文章」の全体を整理することにした。これを説明する。後の(ii)・(iii)の問いに答えよ。
- (資料略)
- (ii) さらにひさんは文章全体を読み直し、加筆・修正したいと思ったことを書き留めた。加筆の方針として最も適切なものを次の①～④のうちから一つ、修正の方針として最も適切なものを次の⑤～⑧のうちから一つ、それぞれ選べ。加筆の方針についての解答番号は [21]、修正の方針についての解答番号は [22]。
- ① かつて言い換えを求められた外来語がその後どれほど定着したかを示すため、【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】をもとに、言い換え語に対する人々の意識の変化について説明する文章を [1] 段落に加筆する。
- ② 言い換える提案がどのような形で実践されたかを示すため、【資料Ⅱ】をもとに、用例を挙げたり手引きを加えたりという工夫があったことを説明する文章を [2] 段落に加筆する。
- ③ 外来語の言い換えが現在ではより一層重要になっていることを示すため、【資料Ⅲ】をもとに、外来語を積極的に使う人が増加していく傾向にあるということを説明する文章を [3] 段落に加筆する。
- ④ 与えられた課題に対しての結論を述べる必要があるため、[4] 段落の末尾の文を「一つ」の外来語の意味を適切に理解していくことが重要である」と修正する。
- ⑤ 与えられた課題に対しての結論を述べる必要があるため、[4] 段落の末尾の文を「医師の使う用語の概念が患者に伝わるかに注目することが重要である」と修正する。
- ⑥ 与えられた課題に対しての結論を述べる必要があるため、[4] 段落の末尾の文を「医師の使う用語の概念が患者に伝わるかに注目することが重要である」と修正する。

第3回ベネッセ・駿台マーク模試 第3問 問4

- 第3問 ナツキさんは、食品ロス(本来食べられるのに捨てている食品)について調べ、「食品ロスと消費者意識」という題で自分の考えを「レポート」にまとめた。【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】は、「レポート」の参考とするために、調査結果を参考資料の一部を整理したものである。これらを読んで、後の問い(問1～4)に答えよ。(配点 20)
- 問4 ナツキさんは、「レポート」の主張をより説得力あるものにしていくために、新たな内容を提示しようと考えた。その内容として適切なものを次の①～④のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は [22]、[23]。
- ① 細分化している消費者ニーズを満たすための取り組みとして、多様な商品を管理し、どのような消費者のニーズにも対応することで売り上げを向上させている事例を提示する。
- ② 食べられるにもかかわらず規格外の農産物が廃棄されている事実を紹介するとともに、規格外の商品を取り扱いつつ情報発信を工夫することで販売につなげている事例を提示する。
- ③ 食品を有効活用する取り組みとして、家庭で余っている食べものを学校や職場に持ち寄り、まとめて地域の福祉活動やフードバンクに寄付をしている事例を提示する。
- ④ 「賞味期限」「消費期限」に関する消費者行動について、期限が近い商品に関する購入調査を多角的な観点から実施し、食品ロス削減に向けた行動を促すにはどのような方法が有効なのかを提示する。
- ⑤ 外食産業における食料の食べ残しについて、業種を知らずで廃棄方法に関する調査を様々な観点から実施し、どのような再生利用が環境に負担をかけないかを提示する。
- ⑥ 家庭における食品や食料の「直接廃棄」について、廃棄した食品や食料が廃棄した理由について具体的な調査を実施し、今後どのような取り組みが必要なのかを提示する。

いずれも「書く」という言語活動の過程が意識された出題。【文章】や【レポート】がどのような目的で、何を主眼として書かれているかをおさえたうえで、加筆・修正によってどのような改善を図るかを吟味する力が求められた。